

向こう 1 か月の天候の見通し

（5 月 27 日～6 月 26 日）

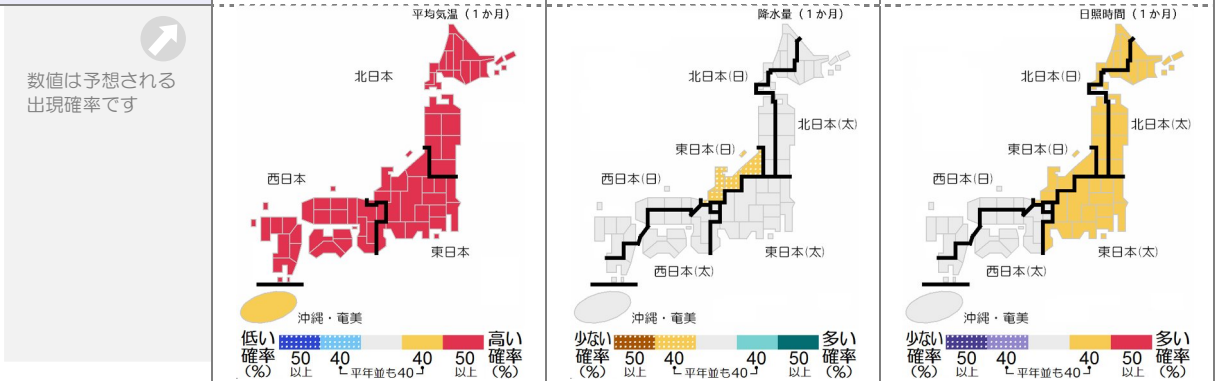
気象庁地球環境・海洋部

予報のポイント

- 全国的に暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は北・東・西日本では高く、沖縄・奄美では平年並か高いでしょう。特に期間の前半は北・東日本ではかなり高く、期間のはじめは西日本でもかなり高い所がある見込みです。
- 北・東日本は、期間の前半を中心に高気圧に覆われやすく、向こう1か月の日照時間は平年並か多い見込みです。東日本日本海側では、これに加えて、向こう1か月の降水量は平年並か少ない見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
北日本	日本海側	低 10 並 30 高 60% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
東日本	日本海側	低 10 並 30 高 60% 高い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み
西日本	日本海側	低 10 並 30 高 60% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み



週別の天候

(1 週目) 5/27~6/2	<ul style="list-style-type: none"> 北・東・西日本では、天気は数日の周期で変わりますが高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
(2 週目) 6/3~9	<ul style="list-style-type: none"> 北・東日本では、天気は数日の周期で変わりますが高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 西日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
(3~4 週目) 6/10~23	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

週別の平均気温

	平均気温 (1 週目) 5/27~6/2	平均気温 (2 週目) 6/3~9	平均気温 (3~4 週目) 6/10~23
北日本	低 10 並 10 高 80% 高い 見込み	低 10 並 40 高 50% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
東日本	低 10 並 10 高 80% 高い 見込み	低 10 並 40 高 50% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
西日本	低 10 並 30 高 60% 高い 見込み	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
沖縄・奄美	低 30 並 50 高 20% 平年並 の見込み	低 20 並 50 高 30% 平年並 の見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み

↑

数値は予想される
出現確率です

平均気温 (1 週目)

平均気温 (2 週目)

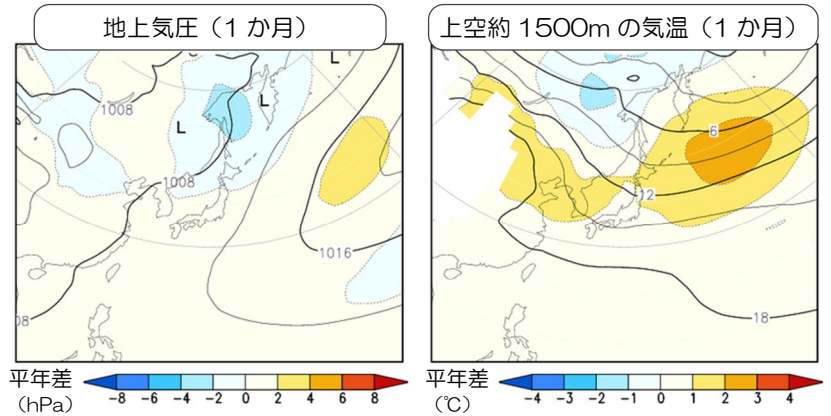
平均気温 (3~4 週目)

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、北日本～日本の北では低い一方、東・西日本～沖縄・奄美～日本の南では高い予測となっています。

上空約 1500m の気温（右図）は、日本付近は広く高い予測となっています。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温（1 か月）の 平年並の範囲		降水量（1 か月）の 平年並の範囲	日照時間（1 か月）の 平年並の範囲
北日本	平年差：-0.5～+0.6℃	北日本	日本海側 太平洋側	平年比：87～110% 平年比：81～109%
東日本	平年差：-0.2～+0.4℃	東日本	日本海側 太平洋側	平年比：75～110% 平年比：85～112%
西日本	平年差：-0.1～+0.3℃	西日本	日本海側 太平洋側	平年比：75～116% 平年比：81～114%
沖縄・奄美	平年差：-0.2～+0.2℃	沖縄・奄美		平年比：89～112% 平年比：92～104%

	平均気温（1 週目）の 平年並の範囲	平均気温（2 週目）の 平年並の範囲	平均気温（3-4 週目）の 平年並の範囲
北日本	平年差：-0.6～+0.7℃	平年差：-0.6～+0.7℃	平年差：-0.7～+0.7℃
東日本	平年差：-0.4～+0.5℃	平年差：-0.3～+0.5℃	平年差：-0.3～+0.5℃
西日本	平年差：-0.3～+0.5℃	平年差：-0.2～+0.3℃	平年差：-0.2～+0.4℃
沖縄・奄美	平年差：-0.4～+0.3℃	平年差：-0.4～+0.4℃	平年差：-0.2～+0.3℃

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11～20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解 説
高い（多い）確率が 50%以上 (20 : 40 : 40)	高い（多い）見込み 平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が 50%以上 (40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	平年並の見込み ほぼ平年並の見込み
低い（少ない）確率が 50%以上 (40 : 40 : 20)	平年並が低い（少ない）見込み 低い（少ない）見込み